

シルバーだより明石

銀の花

正会員数

1,137人
男 773人
女 364人
(平成23年7月1日現在)



働くよろこび

『働くよろこび』 写真提供：事務局

書字：山口ひろゑ(会員)

【発行】(社)明石市シルバー人材センター

〒673-0026 明石市船上町5-2

TEL (078) 922-5000 FAX (078) 922-5040

URL <http://www.sjc.ne.jp/akasi/>

【企画・編集】広報・編集部

平成23年度 第1回 通常総会報告

標記通常総会は、去る5月31日（火）午後1時より晴天に恵まれ明石市立市民会館において、会員923名（委任状出席を含む）の出席のもとで盛大に開催されました。

第1部 通常総会



東森理事長挨拶

今般も開会に先立ち3・11東日本大震災での多くの被災者に対して、会場全員起立の上黙祷を捧げました。

例によりまして司会人は人丸小校区（太寺）会員、小阪 滋氏のもとで進行されました。

はじめに、東森理事長のご挨拶があり、ご来賓への感謝の表明、来春の公益社団法人誕生に向けての手続き状況の説明とご承認お願い等など、更に事業路線の拡大の現況（新規2事業）、今秋迎える設立30周年式典の企画表明などがありました。

引き続き、ご来賓の中から、ご就任早々の、泉 房穂新市長、及び出雲 晶三明石市議会議長から激励の祝辞いただきました。

総会議長には、今回ニューフェイスの池田紀年氏が選出、議案審議に入りました。詳細は省略しますが、全5議案ともすべて原案どおり可決承認されました。



総会場風景

（なお、今回、会員の皆様のご出席により、公益社団に向けての定款変更にご賛同賜りましたことに事務局挙げて深く感謝申し上げます。）

第2部 アトラクション

※ 30周年記念事業

カラオケ同好会（発表会）を開催

今回は当センター30周年記念事業の一環として「カラオケ同好会」（会長 山田雅章さん）の独自制作による発表会が挙行されました。（関連記事 3頁ご参照下さい）



出演者全員整列

※ 30周年記念事業

「手芸サークル」小展示会

同じく30周年記念事業の一つとして、左記総会当日会場受付の対面コーナーで日頃の活動のほんの一端をご紹介する為、小展示会を開催しました。（関連記事 3頁）



同好会（サークル）活動報告

左記の総会報告、第2部アトラクションの項でご案内しました通り、当センターの30周年記念事業の一環としてカラオケ同好会の独自制作によるサークル発表会が挙行されました。

発表会（カラオケ）を終えて

会長 山田 雅章 さん



山田雅章会長挨拶

致しております。

当初、かくの如き大きなステージで歌う自信がないとやや尻込みしていた会員諸君もリハーサルを重ねるうちに肩の力も抜けて、本番では、皆の背筋がしっかり伸び、かくも堂々と熱唱される姿に私自身

センターの総会の第2部という思いもかけないステージを拝借し我々サークルの発表会が曲りなりにも成功を収めることが出来たのも、理事長をはじめとする、担当役員、課長など事務局各位の温かいご協力によるものと深く感謝

が感動しておりました。

企画から準備に至るまで皆が一致協力し、無事終了まで振り返って「やれば出来るんだ!」という自信も得ましたし、我がサークルの力強い結束力にも確信も持ちました。我々には又新しい課題を設け、その目標に向って、新たな挑戦が待っています。いつかはNHKのど自慢にでも挑戦しようと言い合っております。さて、生きる喜びはいつまでも身だしなみに気を配ること、働く喜び、学ぶ喜び、遊ぶ喜びをバランスよく続けること、年齢に甘えないことも肝要です。最後に今回の発表会をご覧になられた方々で我々の活動の理念にご賛同いただける方は御気軽にお問い合わせ下さい。(寄稿文)

手芸サークル

上のカラオケ同好会同様、30周年記念事業の一環として「手芸サークル」でも、日頃の活動のほんの一端をご紹介します。当日は仕事の関係で出席者は7名（サークル会員）でしたが、出品は約30点、多くの総会出席者（主として女性）が興味深くご覧になっていました。

当手芸サークルの役員（会計）のお一人、泉谷勝子さんは、「多くのシルバー会員に見ていただきました。皆様が『活動は楽しそうね、うらやましい

わ』とお声をかけていただいたので、今度は10月の記念式典当日を目標に、頑張ろうねと皆で言い合っていました」と話されていました。(当日取材記事)

泉谷さんの談話にありましたとおり、10月8日（土）には明石市民会館、大ホール前で同サークルの展示会を開催します（即売会も同時に開催）皆様どうぞご期待下さい。

監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	理事長	
浅井保人	松谷邦雄	坂本正子	小林つゆ子	池田紀年	北澤武	高橋澄夫	荒川克博	佐久間謙司	松村和美	和田美耶子	井上一美	茅上俊秀	東森茂久

残暑お見舞い
申し上げます



30周年記念事業特集(式典紹介)

(とき：H23年10月8日(土)PM1時30分～ ところ：明石市立市民会館)

6月、7月にそれぞれパンフレットでご案内及びご紹介しておりますが、当日の式典を彩る出演者及びチームをここにご紹介します。(写真提供：各チーム、及び一部広報部取材、撮影)



総合司会

パーソナリティー
浅井 千華子さん
(当センター役員 浅井 保人氏
のお嬢さん)

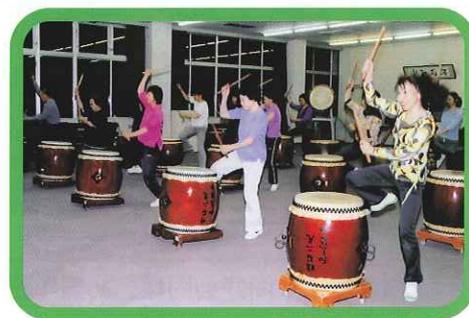


シンシアウインドオーケストラ

(団長 櫻井智宏さん)
'97年結成の颯爽とした若者軍団

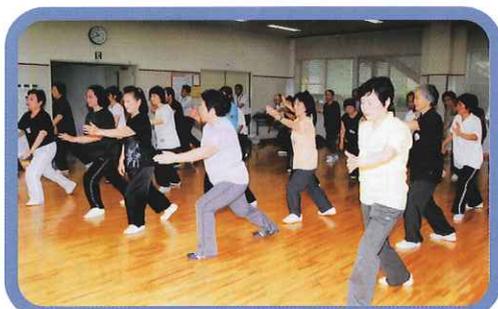
KIRARA シャイニングスター

(代表 西尾弘子さん)
ジャズダンスで魅了
するダンスチーム



明石二見利太鼓会

(会長 古坂信宏さん)
明石で最古の歴史を持つ名門チーム



明石太練クラブ

(太極拳クラブ：代表 池田
紀年さん、当センター役員)
平成6年結成 現在会員140
名の大所帯

最近のトピックスから 節電のすすめ

東日本大震災は発電所や送電設備に大きな被害をもたらし、原発のみならず火力発電所も津波におそわれ、東電の電気供給量は4割減だと言われる。こうした事態に対して、7月1日より、東京電力および東北電力管内では法律による「電力使用制限令」も発動され相当大掛かりな節電対応がはじまった。節電の波は西日本にも広がっており、我々の住む関西電力管内では関東以東の如き強制力はないが節電の協力が求められている。

関電の要請によると、各家庭の電力消費を15%減らすこととあるが、何をどれ位セーブすればいいものか一般家庭では判断が難しい。そこで各家庭での節電のポイントを要約すると、統計数字によれば、家庭の消費電力を大きなものから並べると、①エアコン②冷蔵庫③テレビ④照明器具と続く。早い話、エアコン止めれば、直ちに15%の節電が達成できるそうだが、それは極論としても、通常設定温度を2度上げると10%の節電効果が見込めるといふ。冷蔵庫の設定を「強」から「中」に、照明器具は日中消灯、TVは省エネモード、主電源を切る等など、工夫の道は沢山ある。エアコンは控えめにすることは分かっているが、暑い夏の熱中症は心配だし、「よしず」「すだれ」など日差しの緩和を図るなど昔ながらの年寄りの智慧を存分にいかして一人ひとりがこまめに努力したいものです。一人ひとりの積み重ねが集まれば大きな効果を生む筈だから。(広報部 荒川)

安全委員会だより News From Security Board

当センター安全委員（10名）が下記のとおり委嘱されました。（任期は平成23年5月20日より2年間）

委員長	佐久間 謙司（重任）	委員	赤松 正隆（重任）
委員	北澤 武（新任）	同	加賀山ヤエ子（重任）
同	井上 勉（重任）	同	森 正幸（新任）
同	辻 凱啓（重任）	同	鈴木 良造（新任）
同	日原 年和（重任）	同	田中 啓子（新任）

同委員会の重鎮

委員長 佐久間 謙司さんのご挨拶



この度、理事長より委嘱を受け安全委員長を務めることになりました。この機会に一言ご挨拶申し上げます。会員の皆様は既に充分ご承知のとおり、働く者にとっては「安全第一」を心

掛けて仕事に従事することが、最大の責務でありませぬ。発生する災害はほとんどが、ほんの僅かな油断、気の緩み、不注意、手抜き等々が原因になっています。「親切」「丁寧」「安心」「安全」をモットーとして過去30年間営々として築かれた「シルバー」の信頼を、事故や災害で失墜させてはなりません。

「高齢だから」と云った言い訳や甘えは決して許されませぬ。一人ひとりが自覚を持ち、日々の行動に注意を払っておれば、年間災害「ゼロ」の達成は夢ではありません。

どうか皆様、もう一度原点に立ち返り、無災害で明るく楽しい一年を迎えられる様、御互いに頑張りましょう。（特別寄稿）



安全委員会の面々

次代を担うニューフェイス

鈴木 良造さん（新任）のご挨拶



私が安全委員会メンバーの一員になり改めて「安全」を辞書で検索すると、「危なくない状態」と言う事です。人は皆身の安全を願っています。この度の

大震災の様な天災は別にして、私達の各作業場における災害は夫々の努力に依ってほとんどが防止出来るものだと信じます。

平成23年度安全実施計画に基づき、極限の努力を払う所存ですが、何と言っても我々関係者全員が一致団結して、使命感を持って、災害のない明るい職場を目指して参りたいと考えております。宜しくお願いします。（特別寄稿）

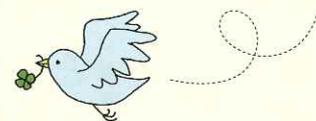
安全標語募集

題目：「安全就業」について

上記委員長の決意表明にもありましたとおり、我々の悲願である「事故ゼロ」を目指すべく力強い、斬新な「標語」をどんどんど応募いただきますようお願いします。

応募要領（作品は未発表の自作に限ります）

- 用紙 特に規定はありません（作品には「氏名、住所、電話など」明記下さい）
- 作品 俳句や川柳のようなリズムカルな調子で
- 応募先 センター事務局
- 締め切り 平成23年10月末
- 作品発表 平成24年度5月総会で優秀作品表彰が行われる予定です。本誌5月号で公表予定。



会員文芸ひろば

エッセー

「人生三分論」

シルバー職員 藤井 幸治

学生時代（数十年前）に学んだ教えに「人生三分論」があります。論理の骨子は、一日を三分割して、先ず八時間を働く、次は睡眠、残りの八時間は自分のために使う。これを長い人生（当時の人生六十年モデル）に当てはめると最初の二十年は勉強で生きる知識を身につけ、次の二十年は自分の生活設計のため、また同時に社会のために、一生懸命に働く、そして残りの二十年は自分の為に思うことをして送る。これを現代のパラダイム（平均寿命八十五歳）にシフトすれば、第二、第三の部分が相当伸びることになります。申し上げたいことは我々ほぼ三分の二を終えた残りの人生を自分の為に過去を振り返って反省や整理のためのゆとりある豊かな時間にしていただきたいと思います。

俳句 他

人丸小校区 川崎多美子

水無月や 姫シヤラ可愛い

こぼれ花

(※ ナツツバキ)

痩せていた 山里肥ゆる 梅雨あけて

シルバーの安全願い拍手を

御厨神社 深々祈る

俳句

貴崎小校区 山口ひろる

列島を 揺さぶる不安 震災忌

異国語も 飛び交い満開 花の下

躑躅燃ゆ 露地の奥なる 豆腐亭

アナウンス ごみ持ち帰れと

花日和

随想

「故郷に帰って」

シルバー職員 原田 澄子

かれこれ四十年近い年月を経て生まれ故郷の明石に帰りました。帰ってきた当初はさすがに全部が新しいものばかり、変化を楽しむのに余念なし。ただ、私の住まいの周辺は昔のまま。今日も蛙が元気で。落ち着くと、だんだん周囲が鮮明になります。社会環境の変化は確実に私の周囲にも押し寄せています。高齢化社会の到来で、空家や空き店舗、単身老人世帯の増加で「老々介護や援助」は常識。私の職場「センター」もどんどん存在感を増し、重要視されています。今日も着席した途端、草刈、剪定、などお助け依頼の電話、今日も「頑張るぞ」思わず受話器に力がこもる。故郷が明るい生活を取り戻すため、少しでも私の働きが役立ちますように、センターと共に頑張っていきたいと思っています。

『センターと共に歩んで』(9)



今回はシルバーでのキャリアは比較的浅いのですが（入会時期平成二十年四月）多彩な経歴をお持ちの塩見 哲一さんをご紹介します。

京都綾部で生まれ、育ち、その後、大阪、堺で鉄鋼関係の仕事に就き、運送関連の仕事も経験、その他多くの体験を通して、各種の資格も取得され、現役最終段階の六十七歳までの七年間、多彩な能力を買われて、龍谷大学、瀬田学舎で社会学部福祉関係の教育・指導に当たられました。さて、シルバー会員としてのお仕事は？

「市交通部（市バス）の給油、や車内ポスターの付替えなどやっています。仕事内容は容易なものですが、夏場と冬場は相当の体力勝負になります」

これからの仕事上のご希望は？

「私自身は植木の剪定から、あらゆる種類の物作り（修理など含め）便利屋稼業はお手の物ですから、そんな幅広い仕事のチャンスを取って頂戴出来れば幸いです」

過去のキャリアからくる仕事に対する自信と礼節を心得た、落ち着きのある態度には、チームを束ねたりリードする知見が全部備わっておられる様に感じます。今後そんな多方面でのご活躍を期待しています。最後にご自慢の優秀なご子息（次男さん）が投資関係のコンサルタント事務所を開設され、立派な手引書を執筆されています。左記にご紹介しますので、ご興味のある方はご一読下さい。

「投資本を読む人へ」 塩見 努 著

(註) これから投資を始める人への指南書

(取材・まとめ 荒川)

新しい風



まえかわ りゅうじ
前川 龍司 さん

ご出身は？

生まれは明石の松江、現在、神戸須磨に住んでいます。家族構成は両親に兄1人、4人家族です。

正式入所は？

平成23年4月本採用になりました。

最終学歴は？

龍谷大学、法学部法律学科、専攻は刑事学です。

専攻を生かした就職活動はしなかったのですか？

もとより在学中から、一般公務員志望でしたから、その方向は考えていなかったです。

それで？

県庁障害福祉課で臨時職員として年金関係の仕事をして2年間、その後、海外専門の旅行社で5年間契約社員として頑張りました。

ご結婚は？

もう34歳になりますが、まだ独身です。

現在の業務フィールドは？

直属上司の指導を受けながら公共全般や除草関連の仕事の習得中です。短い期間ながら、役所と民間企業の両面を体験しましたので、それらの経験を活かして即戦力にならなければと頑張っております。

趣味は？

何と言っても、貴重な体験は仕事の合間を利用して2ヶ月ばかり東南アジアをバックパッカー（気楽ないでちで出掛ける旅）してきたことです。以来人生観が少し変化したと思います。

趣味は車が好きで、鈴鹿のF1レース観戦は費用も掛かりますが割合マメに出掛けます。勿論自分でも運転します。愛車はホンダ・ストリーム。スポーツはテニス、フットサル、音楽は洋楽中心の鑑賞、ハードロック、ポップス。

（新入職員 ご紹介コーナー）

当事務局では今期より、男女各1名の新入所が決まりました。簡単なインタビューを交えてそれぞれご紹介します。



たむら あけみ
田村 朱美 さん

ご出身は？

生まれも育ちも加古川市です。

お家は何人家族ですか？

今は3人です。構成は両親と私、姉がいますが、結婚して別所帯です。（居心地のよい3人家族の家庭生活にドブプリ？）

学校は加古川？

はい。最終は神戸の山手女子短大です。専攻は芸術部、デザイン学科です。

（神戸の女子大に詳しい（？）編者の印象でも、校風どおりの穏やかで明るいお人柄）

これまでのお仕事のカリヤーは？

市役所水道部関連事業で水道サービス公社に9年間勤務しましたが、今年解散（閉鎖）になりました。

シルバーでのお仕事は？

前任者が4月でお辞めになった後を継いで経理関係をやらせていただいています。4月1日より正式に着任しましたが、私自身が要領も悪く、なかなか慣れずに気苦労も多いです。

余暇（非日常）はどうお過ごしですか？

私の自慢は良い交友関係に恵まれていることです。「つくし会」という世代を超えたグループで、月一回の旅行、食事会、カラオケ等など楽しんでいます。カラオケではテレサ・テンの曲は全部好きです。でも18番じゃなく全部17番どまりなんですよ（笑）

如何でしょう？明るく素直で若さいっぱい、新時代の空気を全部吸い込んで入所してこられた前川さん、田村さんのお人柄の少しはお分りいただけたでしょうか。

当センターの歴史も今年で30年を数えます。諸先輩が築かれた偉大な足跡に対する正しい史観を携えつつ新しい時代の変化に対応する先鋒としてご活躍を期待しております。（まとめ、文責：広報 荒川）

事務局からのお知らせ INFORMATION FROM CENTER OFFICE

※ 当センター設立30周年記念事業のお知らせ

既にあらゆる連絡機会を通じてお知らせしておりますが、以下重ねてご連絡致します。

①30周年記念式典 10月8日(土) 明石市立市民会館 大ホール (本誌4頁に特集記事)

②会員作品展

★10月21日(金)～31日(月)

大久保駅前市民ギャラリー

★11月14日(月)～18日(金)

明石市役所 2Fロビー



※ 熱中症対策・ハチ刺され防止対策について

今年も猛暑期を前に、会員の皆様の安全就業を願って、6月に熱中症対策及びハチ刺され防止のチラシを会員全員に送付しました。

まもなく暑さも峠を越えるかと思いますが、今しばらくご注意ください。重ねてお願い致します。

※ 節電のすすめ

ご承知のとおり、東日本大震災に端を発した原発事故等々に因る電力不足は、日本全体におよんでおり、関西地区でも9月22日まで節電要請発令中です。引き続き宜しくお願い致します。

※ 配分金振込み日ご案内 (関係期間のみ)

就業月	振込月・日	就業月	振込月・日
8月	9月15日(木)	11月	12月15日(木)
9月	10月14日(金)	12月	(H24) 1月20日(金)
10月	11月15日(火) (後期会費引去月)	(H24) 1月	(H24) 2月15日(水)

※ 退職員のお知らせ

平成2年以來21年間におよび、主として経理関係のお仕事に携わってこられた助川はつ江さんが4月末でご退職になりましたので、お知らせ致します。永きに亘ってのご活躍にご苦勞様と感謝を送ります。今後のご健勝を心から祈念致します。

※ 東日本大震災義援金の寄託報告

当センターから義援金、¥100,687を6月13日神戸新聞社に寄託致しましたのでご報告致します。なお、3月、5月の総会場などでの募金活動ご協力にこの場を借りましてお礼申し上げます。

※ 平成23年度 事業実績経過表 (4月～5月)

● 会員数	1,122人 (5月末)	● 受注件数	964件
(男:763人、女:359人)		内 訳	
		{ 公共	107件
		{ 民間	857件
● 就業実人員	803人 (5月末)	● 契約金額	108,487千円
● 就業率	71.93% (5月末)	内 訳	
		{ 公共	27,698千円
		{ 民間	80,789千円



平成22年度安全標語優秀作品 「過信と自信は紙一重 安全作業で 事故防止」 (作) 岡田 保之

編集後記 EDITOR'S POSTSCRIPT

★ 本号表紙絵柄は活力溢れた「働くよろこび」(書字 会員、山口ひろゑさんによる)を写真で書いた様に(?)表現しました。写真提供は事務局職員 藤井幸治さん。ご協力ありがとうございました。

★ 本誌は当センター唯一の情報誌として、センター活動の主要な記事はもとより、更に会員のご紹介コーナー、ふれあい広場、文芸ひろば、それに各種サークル活動などもっともっと紙面を拡大して参りたいと考えております。各サークルの役員さんはもとより、一般会員さんの積極的な文壇デビュー(?)に挑戦頂きます様、宜しくお願い致します。 (広報・編集委員)